

八代・天草シーライン 建設構想

“YATSUSHIRO-AMAKUSA SEA-LINE”
CONSTRUCTION PROJECT



八代・天草シーラインイメージ

AMAKUSA

YATSUSHIRO

シーラインが切り開く“県南・天草新時代”



八代・天草シーライン建設促進期成会

八代・天草シーライン 意義・現状

人口減少、少子高齢化が進む中、地方の活力を維持するためには広域連携が不可欠です。県南・天草地域において広域連携を実施するためには、八代海をつなぐ道路交通網の整備による一体化が有効であり「八代―天草シーライン」の実現が期待されます。

県南及び天草地域のアクセス・イメージ [現況]



※現況における県南及び天草地域の交通アクセス・イメージを左図に示します。

九州新幹線や九州縦貫自動車道、南九州西回り自動車道の整備により、八代地域から周辺の水俣・芦北地域および人吉・球磨地域へのアクセス強化が図られていますが、その一方で天草地域へのアクセスは、主に宇城方面を迂回する陸上移動となっており、「交通の要衝を生かした県南拠点都市形成」を推進するためには天草地域への交通の結節が大きな課題となっています。

天
草
AMAKUSA



交通アクセスの強化
国内外からの観光客増加
緊急時の代替ルート確保
定住人口の増加



八代・天草シーライン 整備効果

県南・天草地域相互の交流・連携を強化し、新たな魅力を持つ圏域を生み出す効果があります。さらに、成長著しいアジアの活力を引き込み、九州東西軸の対流を促進し、日本海国土軸・太平洋軸の2面活用に寄与するなど、九州広域圏や国土形成上の観点からも、大きな成果が期待されます。

八代 ↔ 天草の所要時間短縮

災害時における天草と九州本土を
結ぶ代替ルートの確保

活気あふれる広域経済圏の出現

九州西岸軸と東岸軸を結ぶ新たな
交通ネットワークの実現



東アジアに向けた
ゲートウェイ

日本海国土軸

太平洋軸

九州西岸軸と
東岸軸の連携



夢の架け橋



人吉・球磨



HITOYOSHI
KUMA

八代
YATSUSHIRO



MINAMATA
ASHIKITA

水俣・芦北

市場拡大
南九州の物流拠点化
生活圏の拡大
企業誘致の促進

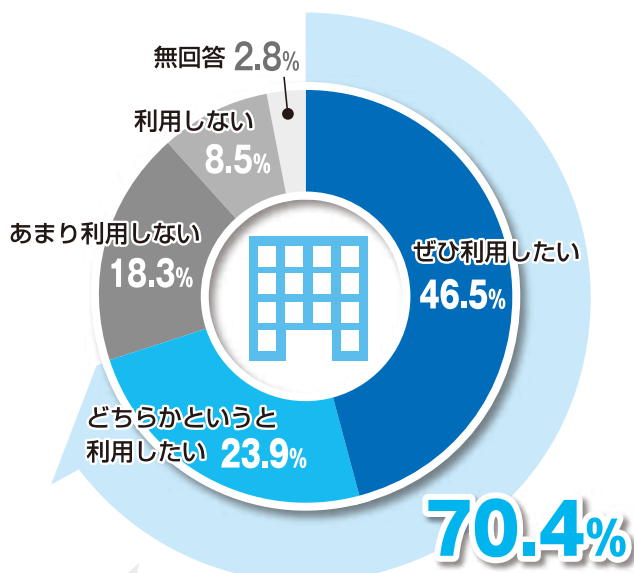


八代・天草シーラインに対する期待

八代・天草シーラインの整備についてアンケート調査とヒアリング調査を実施し、県南・天草地域内外のみなさまの八代・天草シーラインに寄せる期待やご意見をいただきました。

Q 事業者の利用意向

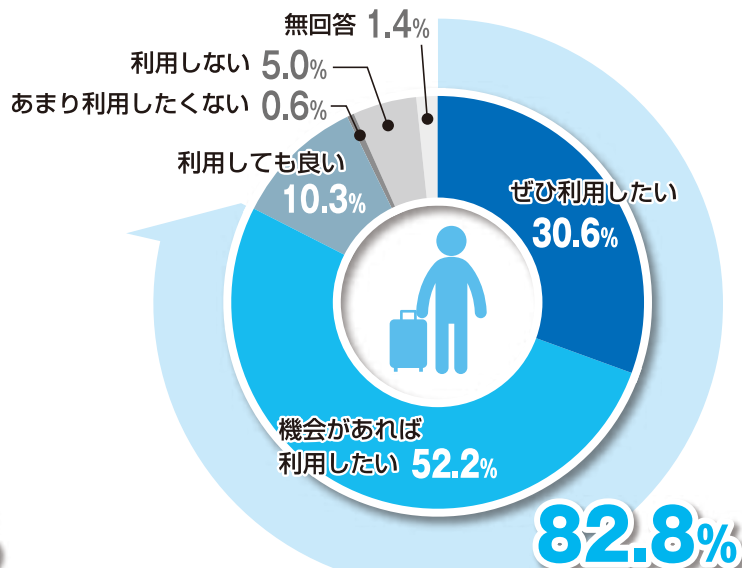
(天草地域の経済団体加盟事業者のご意見)



地域の事業者の約7割が
八代・天草シーラインを利用したいと考えています

Q 宿泊者の利用意向

(県南・天草地域の宿泊者のご意見)



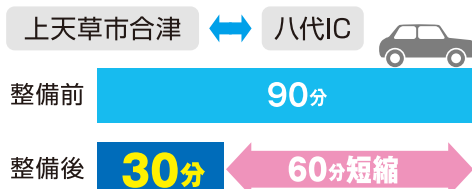
県南・天草地域への宿泊者の約8割が
八代・天草シーラインを利用したいと考えています

八代・天草シーラインにより期待される効果

効果
1

天草市本渡 ↔ 八代IC
**120分⇒60分の
所要時間短縮が可能**

[所要時間の変化]



効果
2

人流や物流だけでなく、
天草地域と九州本土間の
**災害時の代替ルート
確保**につながる

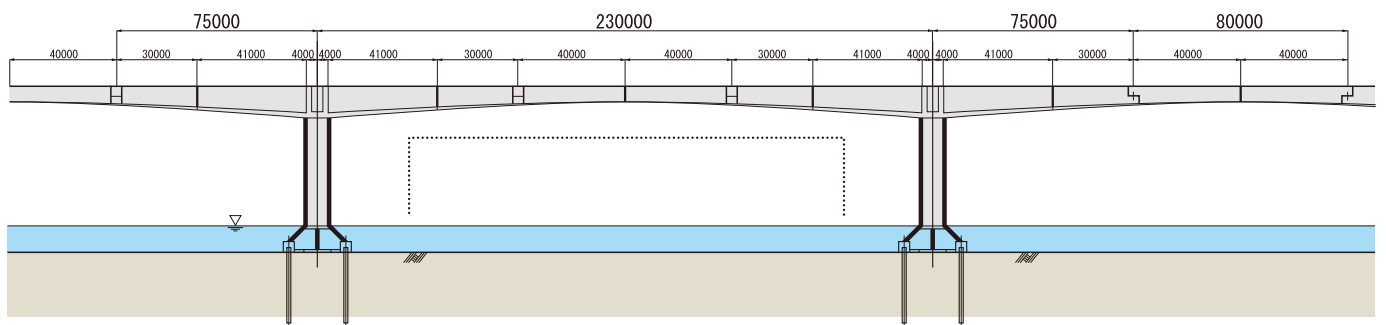


八代・天草シーラインルート図



形式 (PC多径間連続箱桁橋)

延長 8.8km (38@230m)





シーライン断面図

道路規格：第3種第2級
設計速度：50km/h
車道幅員：3,500mm
左側路肩：750mm
中央帯：1,000mm
有効幅員＝9,500mm

観光バス等の大型車両の通行を考慮した幅員構成で、海上橋梁における線形状況から中央帯を設置します。

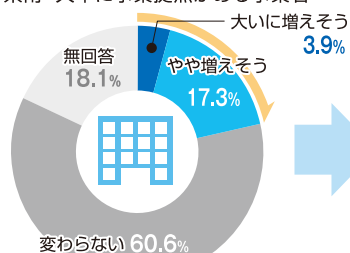
概算コスト 801億円

八代・天草シーラインの経済波及効果

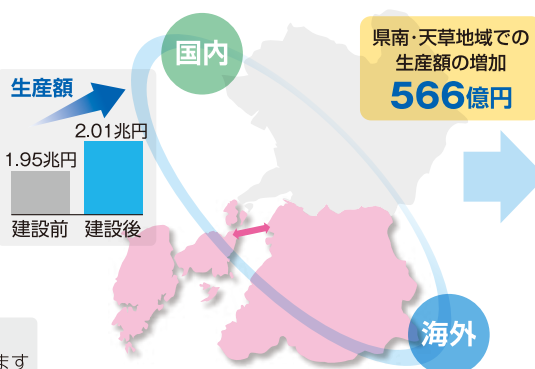
産業

産業面では県南・天草地域以外の地域に**市場が拡大**(取扱量・販売量の増加)し、県南・天草地域での生産額の増加が期待されます。

県南・天草に事業拠点がある事業者



県南・天草地域に事業拠点がある事業者の約2割が、市場が拡大するとみています



市場拡大

経済波及効果

783億円/年

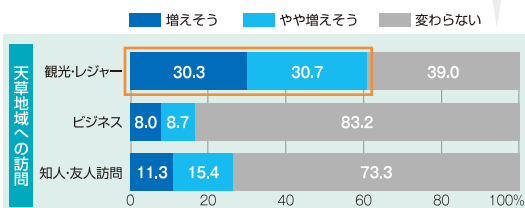
[産業連関表を用いた推計]

観光

観光面では県南・天草地域へのアクセスが向上し、県南・天草地域への国内外からの**観光客増加と観光消費額の増加、滞在日数の長期化**が期待されます。

シーラインによって県南・天草への訪問が増えそうと回答した宮崎、鹿児島在住者は5割を超えており、高い訪問意向があります。

上記の高い訪問意向及び他県の事例をもとに、観光客が2割増加*と仮定しています。

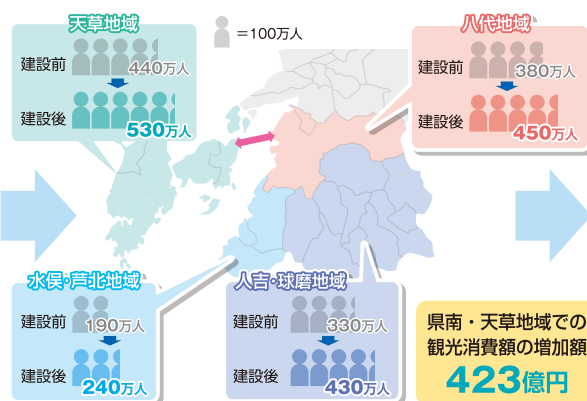


*観光客2割増加の仮定は、明石海峡大橋架橋による香川県の観光入込客数の増加率を参考(平成10年度、対前年比15.3%増)

クルーズ船観光客向けのバスツアーのうち、県南・天草地域を訪問したバスツアーのシェア(平成30年)

県南エリア		天草エリア	計
八代・水俣・芦北	人吉・球磨		
26.9%	7.4%	0.5%	34.8%

2018年の県南・天草地域バスツアー訪問率 **34.8%**



観光客増加

+

滞在日数増加

+

クルーズ船寄港数増加

経済波及効果

579億円/年

[産業連関表を用いた推計]

建設

訪問率が**50%に上昇**

*クルーズ船寄港(200隻)によるバス動員台数(年間)を20,000台、バス1人あたり乗客数38人を前提とし、移動時間60分短縮により天草エリアの訪問率が八代・水俣・芦北エリアと同程度まで伸びると仮定しています。

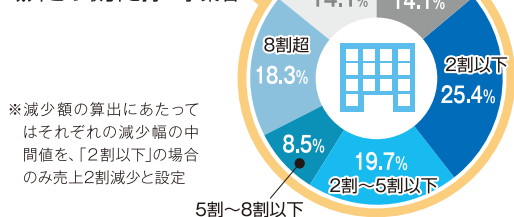
県南・天草地域での観光消費額の増加額 **28億円**

防災

防災面では天草五橋ルートが通行できない場合は経済損失が発生するおそれがあり、シーラインにより**代替ルート**を確保することで**売上減少を回避**することが期待されます。

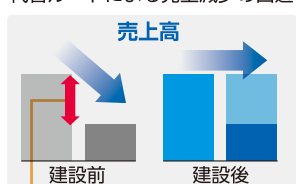
天草地域の事業者の約7割が、天草五橋ルートが通行できない場合に売上が減少するとみています。

県南・天草に事業拠点があり域外との取引を持つ事業者



*減少額の算出にあたってはそれぞれの減少幅の中間値を、「2割以下」の場合のみ売上2割減少と設定

代替ルートによる売上減少の回避



シーラインがない場合の売上減少額 **1,077億円**

代替ルート

天草五橋ルートが通行できない場合のマイナスの経済波及効果

1,483億円/年

[産業連関表を用いた推計]

シーラインが実現すれば、県南・天草地域において、産業面、観光面、防災面のみならず生活面において多様かつ新しい価値が創出され、地域内での好循環が期待されます。

八代・天草シーライン建設促進に向けた取り組み

期成会設立の背景	①90分構想 ②細川知事発表（内外情勢調査会講演：昭和60年4月16日） 八代－松島間の自動車専用道路建設構想 ③熊本・明日へのシナリオ（圏域間ネットワーク等の整備） 建設の調査検討 ④県南議員連盟と関係都市の申し合わせ（昭和63年4月11日）
平成元年6月	八代・天草架橋建設促進期成会の設立
平成4年8月	八代・天草架橋建設促進民間協力期成会の設立
平成15年6月	天草・八代架橋建設促進民間期成会の設立
平成19年12月	八代・天草架橋建設促進議員連盟（県南振興議員連盟）の設立
平成20年10月	八代・天草架橋建設促進市議会議員連盟の設立
令和元年8月	八代・天草架橋建設促進総決起大会において 「八代・天草シーライン」の名称を用いる特別決議採択
令和3年2月	八代・天草シーライン建設促進協議会の設立
令和3年6月	熊本県の「新広域道路交通計画」に構想路線として位置づけ
令和3年7月	国の「九州地方新広域道路交通計画」に 構想路線として位置づけ

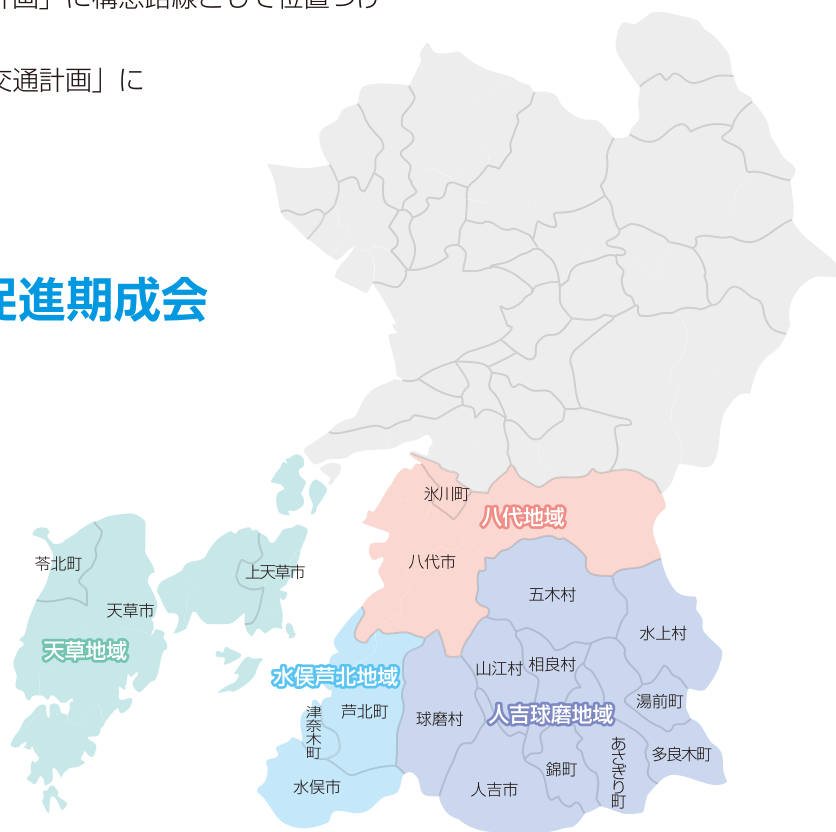
八代・天草シーライン建設促進期成会

■会 員

県南18市町村
(八代・水俣芦北・人吉球磨・天草地域)

■主な活動

国への要望活動
住民への啓発活動
八代・天草シーライン建設に向けた調査



《お問い合わせ先》

八代・天草シーライン建設促進期成会事務局
(八代市企画政策課内)

〒866-8601 熊本県八代市松江城町 1-25
TEL.0965-33-4104 FAX.0965-33-5125